

### (3) 協議事項

#### ア 第3期特定健康診査等実施計画（案） について



# 1 計画策定の趣旨

## 「高齢者の医療の確保に関する法律」

### 特定健康診査・特定保健指導

生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的として実施

### 特定健診等実施計画

特定健康診査を実施するにあたり、具体的な目標や実施方法などを定めたもの

第1期計画（平成20年度から平成24年度）

第2期計画（平成25年度から平成29年度）

## 第3期計画

平成30年度から平成35年度

計画期間 **6年**に変更

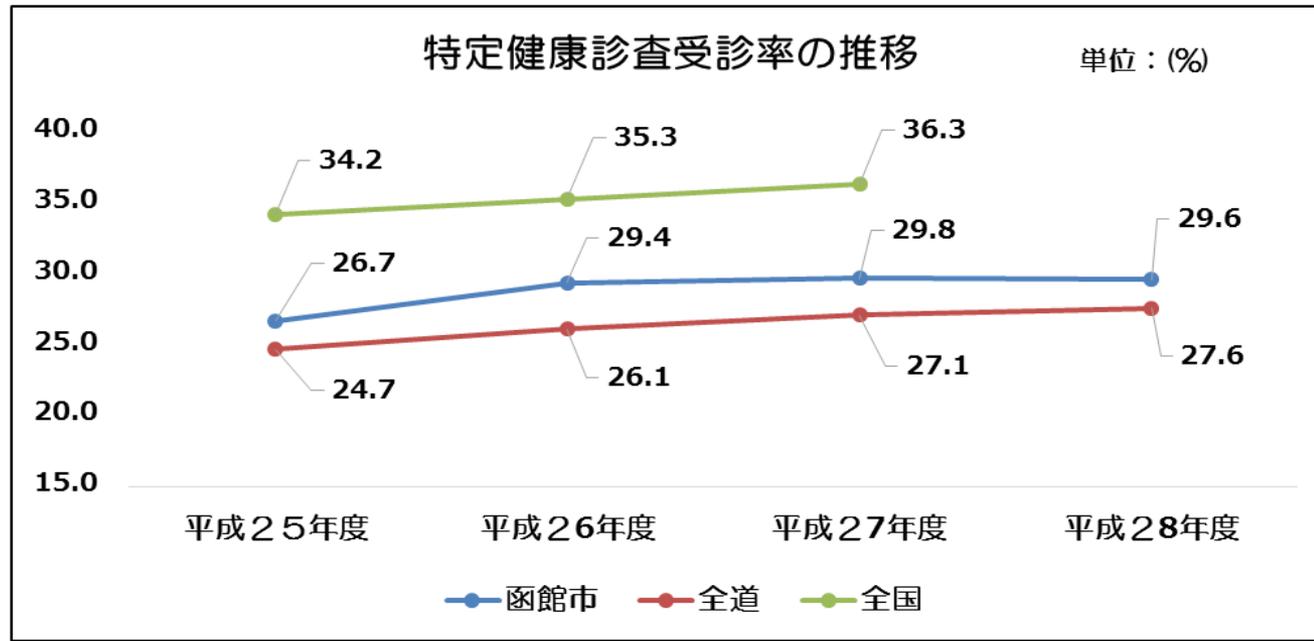
## 2 計画の主な内容

- (1) 第2期計画の実績評価
- (2) 第3期計画の具体的な目標
- (3) 特定健康診査等の具体的な実施方法
- (4) その他必要事項

# (1) 第2期計画の実績評価

## 第2期目標値と実績値

区分		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
特定健康診査	目標値	30.0%	37.5%	45.0%	52.5%	60.0%
	実績値	26.7%	29.4%	29.8%	29.6%	
特定保健指導	目標値	20.0%	30.0%	40.0%	50.0%	60.0%
	実績値	8.6%	8.3%	15.4%	22.3%	



実施率を向上させるための有効な受診勧奨等が重要な課題

## 健診結果の状況

### \* 所見有りの割合が高い検査項目

「LDLコレステロール」

「収縮期血圧」

「ヘモグロビンA1c」

### \* メタボリックシンドローム該当者・予備群の状況

男性：約2人に1人 女性：約7人に1人

特定健診の受診や、特定保健指導の利用により、生活習慣病の予防と重症化を未然に防ぐための対策が必要！

## (2) 第3期計画の目標

### 年度別目標値

区分	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度)	2020年度 (平成32年度)	2021年度 (平成33年度)	2022年度 (平成34年度)	2023年度 (平成35年度)
特定健康診査	30.0%	36.0%	42.0%	48.0%	54.0%	60.0%
特定保健指導	25.0%	32.0%	39.0%	46.0%	53.0%	60.0%

第3期計画期間の最終年度（2023年度）の、  
市町村国保の目標値である**特定健康診査実施率60%、**  
**特定保健指導実施率60%**の達成に向け、段階的に設定

## 目標達成に向けた取組の方向性

### 特定健康診査

- 受診勧奨の実施
- 受診環境の整備
- 情報提供および広報の強化

## ● 受診勧奨の実施

- 受診勧奨はがきの送付
- 個別の電話勧奨

健診データやレセプトデータを活用したグループ分けなど、対象者の特徴に合わせた効果的な勧奨

## ● 受診環境の整備

- 無料受診券を全対象者へ送付
- 健診開催日を土日・夜間にも設定
- 胃がん検診との同時開催
- 検査項目に市独自項目の追加
- 40歳45歳50歳オプション検査無料クーポンの配布
- 個人へのインセンティブの提供

健診受診者の中から、抽選で10名様に、お米券3千円分をプレゼント！

# ● 情報提供および広報の強化

- \* 健診カレンダーの全戸配布
- \* 「市政はこだて」への健診案内の通年掲載
- \* 町会単位での受診勧奨ちらしの回覧
- \* 電車、バスへの車体広告や車内アナウンス
- \* 報道機関、ラジオ等を活用した広報
- \* 医療機関、公共施設、包括連携協定締結の市内スーパー等へのチラシやポスター、問診票の配架

## 特定保健指導

- \* 電話や訪問による利用勧奨の実施
- \* 対象者の都合に合わせて、夜間・休日や訪問での指導の実施
- \* 保健指導利用者へのインセンティブの付与（健康関連グッズ）
- \* 教室や健康講話などを通じた，食事や運動など生活習慣改善のための支援

### (3) 特定健診等の具体的な実施方法

#### 【実施方法に関する変更点】

- 検査項目に尿潜血を独自追加

(2期計画の途中(平成27年度)から追加)

- 「心電図」「眼底検査」の医師の実施基準の変更

国の変更により、第2期計画までの「前年度の健診結果」から「当該年度の健診結果」に基づいて、最終的に「医師が必要と判断した者」に検査を実施

- 函館市医師会へ業務委託
- 6月から3月まで、保健センターや医師会健診検査センター、町会館、市内協力医療機関にて実施
- 計画の評価は、毎年度PDCAサイクルにより評価